

五泉市 議会だより



第19号

平成24年
7月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報特別委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911（内線370） FAX.0250-43-2716



五泉小学校の運動会

◆目次

ページ

第2回4月臨時会

2

第3回6月定例会

3

議員別議案
賛否一覧表

4

主な補正予算など

5

議長室から

6

委員会審査報告

6
～
7

総務文教常任委員会

厚生経済常任委員会

建設企業常任委員会

閉会中における常任委
員会所管事務調査報告

8

総務文教常任委員会

厚生経済常任委員会

一般質問（12名）

9
～
14

永年勤続議員表彰
請願・陳情・人事案件

15

編集後記

16

平成24年 第2回 4月臨時会

第2回4月臨時会は4月24日に開催され、専決処分の報告及び損害賠償の額並びに補正予算について慎重審議の結果、次のとおり議決しました。

第2回臨時会議決結果など

4月臨時会で審査された案件			議決結果
市長提出議案	専決処分		
	専決処分の報告承認について(五泉市税条例の一部を改正する条例)		承認
	専決処分の報告承認について(五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例)		承認
	専決処分の報告承認について(五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承認
	予算		
	一般会計補正予算(第1号)		可決
その他			
	損害賠償の額を定めることについて		可決

<一般会計 補正予算(第1号)の主なもの>

- 統合保育園改め総合保育園建設事業及び防災行政無線整備事業の継続費の総額と年割額を変更
- 総合保育園の、実施設計変更に伴う設計委託料の増額分として541万7千円を追加
- 除雪車による事故の損害賠償金に52万6千円を計上
- 防災行政無線整備事業を1億1,840万円減額

<専決処分>

○五泉市税条例の一部を改正する条例

- ・公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった人が寡婦(寡夫)控除を受けようとする場合の手続きの簡素化を図るもの。
- ・固定資産税の課税標準の特例を規定するもの。
- ・商業地等の負担調整措置の延長、住宅用地に関する負担調整措置の改正及び下落修正措置の延長等を規定するもの。
- ・幼稚園や図書館等を設置する一般社団・財団法人に係る固定資産税等の非課税措置の追加を規定するもの。
- ・東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長及び住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例を規定するもの。

○五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例

- ・土地に係る負担調整措置の延長及び下落修正措置の延長等を規定するもの。

○五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- ・東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を規定するもの。

議員別 議案賛否一覧表

○は賛成、×は反対、―は棄権

提出者	議案番号	議案名	議決結果	議 員 名 (議席番号順)																		
				安中聡	佐藤浩	長谷川政弘	伊藤昭一	松井さとし	塚野弘	さとうわたる	平井としひろ	ごちよう利栄	くまくら政一	広野まさる	剣持ゆうこ	鈴木良民	町田としお	あべかねお	相田れい	長谷川真介	鈴木みづのり	いのくま豊
市長	議第50号	専決処分の報告承認について (五泉市税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第51号	専決処分の報告承認について (五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第52号	専決処分の報告承認について (五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	議第53号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第54号	平成24年度五泉市一般会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○	×	

※法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わりません。

平成24年 第3回 6月定例会

第3回6月定例会は、6月12日から6月26日までを会期とし、補正予算や条例の改正議案、請願、人事案件などについて慎重審議の結果、次のとおり議決しました。

第3回定例会議決結果など

6月定例会で審査された案件		審査した 委員会※	議決 結果
提 出 者	専決処分		
	専決処分の報告承認について (国民健康保険特別会計補正予算(第1号))		承認
	条例の一部改正		
	五泉市組織条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決
	五泉市印鑑条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決
	五泉市手数料条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決
	五泉市斎場条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決
	五泉市火災予防条例の一部を改正する 条例	建設企業	可決
	補正予算		
	一般会計補正予算(第2号)	総務文教 厚生経済 建設企業	修正可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	厚生経済	可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	厚生経済	可決
	下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設企業	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	厚生経済	可決
	水道事業会計補正予算(第1号)	建設企業	可決
	人事案件 (敬称略)		
	固定資産評価員の選任について		同意 (湯浅善章)
	人権擁護委員の推薦につき意見を 求めることについて		異議なし (木村麻子)
	人権擁護委員の推薦につき意見を 求めることについて		異議なし (伊藤 苗)

6月定例会で審査された案件		審査した 委員会※	議決 結果
提 出 者	その他		
	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の 変更について	厚生経済	可決
	訴えの提起について	総務文教	否決
	動産の取得について	建設企業	可決
	工事請負契約の締結について		可決
	30人以下学級実現、義務教育費国庫 負担制度拡充に係る意見書の採択を 求める請願	総務文教	採択
	大蔵8号線 道路拡張に関する請願	建設企業	採択
	市道大蔵大沢線の市道拡張工事に関 する請願	建設企業	採択
	柄沢1号線地内側溝分離(用水・排 水)に関する請願	建設企業	採択
	水俣病特別措置法の申請期限延長等 を求める陳情	厚生経済	採択
	五泉市が工事管理を行なった山王中 学校における耐震補強工事の耐震強 度不足事件に関し、五泉市議会とし て真相の究明と責任の所在を明確に するよう求める陳情	総務文教	不採択
	有限会社山本建築設計事務所の入札 参加を求める決議		可決
	30人以下学級実現、義務教育費国庫 負担制度拡充に係る意見書の提出に ついて		可決
	水俣病特別措置法の申請期限延長等 を求める意見書の提出について		可決
	議員派遣について		可決
	閉会中の継続調査の申し出について		可決

専決処分とは・・・

市長が議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないときなど、市長はその議決すべき事件を処分することができる。この場合には、次の議会に報告し承認を求めなければならない。

※「総務文教」：総務文教常任委員会
「厚生経済」：厚生経済常任委員会
「建設企業」：建設企業常任委員会

議員別 議案賛否一覧表

○は賛成、×は反対、―は棄権

提出者	議案番号	議案名		議決結果	議員名（議席番号順）																		
					安中聡	佐藤浩	長谷川政弘	伊藤昭一	松井さとし	塚野弘	さとうわたる	平井としひろ	ごちよう利栄	くまぐら政一	広野まさる	剣持ゆうこ	鈴木良民	町田としお	あべかねお	相田れい	長谷川真介	鈴木みつり	いのくま豊
市	議第55号	専決処分の報告承認について （国民健康保険特別会計補正予算（第1号））		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	議第56号	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第57号	訴えの提起について		否決	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
	議第58号	五泉市組織条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第59号	五泉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第60号	五泉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第61号	五泉市斎場条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第62号	五泉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第63号	動産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第64号	平成24年度五泉市一般会計補正予算（第2号）	修正部分（一部予算減額）	可決	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	
修正部分を除く全て			可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		
議第65号	平成24年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
議第66号	平成24年度五泉市介護保険特別会計補正予算（第1号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		
議第67号	平成24年度五泉市下水道事業特別会計補正予算（第1号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第68号	平成24年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第69号	平成24年度五泉市水道事業会計補正予算（第1号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議第70号	五泉市固定資産評価員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※		
議第71号	工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願・陳情者	請願第2	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願		採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	請願第3	大蔵8号線 道路拡張に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	請願第4	市道大蔵大沢線の市道拡張工事に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	請願第5	柄沢1号線地内側溝分離（用水・排水）に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	陳情第2	水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める陳情		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員	陳情第3	五泉市が工事管理を行なった山王中学校における耐震補強工事の耐震強度不足事件に関し、五泉市議会として真相の究明と責任の所在を明確にするよう求める陳情		不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
	発議第2号	有限会社山本建築設計事務所の入札参加を求める決議		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	発議第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	発議第4号	水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		議員派遣について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	閉会中の継続調査の申し出について		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

※法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わりません。

6月定例会で可決・承認した主な議案の概要を紹介します。

提案者等	議 案 名	概 要
市 長	専決処分 専決処分の報告承認について (国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	平成23年度の決算において、国民健康保険特別会計の歳入が歳出に対し79,923千円不足することから、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づき、繰上充用するものです。
	条例の一部改正 五泉市組織条例の一部を改正する条例 五泉市印鑑条例の一部を改正する条例 五泉市手数料条例の一部を改正する条例 五泉市斎場条例の一部を改正する条例	外国人登録法が廃止されて外国人登録制度から在留カード及び住民基本台帳による在留管理制度に移行することに伴い、関係条例の条文や別表を削除・整理するものです。
	補正予算 一般会計補正予算(第2号) 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 介護保険特別会計補正予算(第1号) 下水道事業特別会計補正予算(第1号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 水道事業会計補正予算(第1号)	地上デジタル放送難視聴対策事業の無線システム普及支援事業費等補助金8,997千円、高齢者福祉施設開設等支援事業補助金11,976千円、五泉駅周辺整備促進事業の測量等委託料6,800千円のほか、人事異動に伴う職員人件費の過不足調整が主なものです。訴えの提起に係る予算額112千円を減額修正したうえで、それ以外の部分は原案のとおり可決しました。
	その他 動産の取得について 工事請負契約の締結について	消防署村松分署に配備する3t級の消防ポンプ自動車の取得について、(株)米峰と29,451,210円で契約を締結するものです。 防災行政無線整備工事について、NECネットエスアイ(株)信越支店と525,000千円で契約を締結するものです。
議 員	有限会社山本建築設計事務所の入札参加を求める決議	山王中学校耐震補強工事問題の相手方である同社との和解に向けた関係改善を目指し、市が行なう入札機会の正常化を求めたものです。
	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	義務教育の30人以下学級の実現と、3分の1に引き下げられた義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に還元することを求める意見書を、関係行政庁に提出するものです。
	水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書の提出について	全ての水俣病被害者を救済するため、7月末締め切りとされた水俣病特別措置法の申請期限を延長することを求める意見書を、関係行政庁に提出するものです。

次の議案・陳情については、審議の結果否決及び不採択と決しました。

提案者等	議 案 名 等	本会議場での主な意見
市 長	訴えの提起について	賛成・学校施設に関する案件であることを加味すれば、和解を考慮したうえで司法に委ねるのが正論だと思う。 反対・昨年の12月議会に同じ提案がされて大差で否決した。半年経ったが双方を取り巻く状況にさほどの変化はなく、同じ判断をせざるを得ない。
陳情者	五泉市が工事管理を行なった山王中学校における耐震補強工事の耐震強度不足事件に関し、五泉市議会として真相の究明と責任の所在を明確にするよう求める陳情	採 択・市民の当然の願いであり、この問題の究明は市議会の責務である。 不採択・ここまでの双方の主張を聞く限り、特別委員会を設置して調査を行なっても、委員会の中で正しい判断をすることが難しい問題である。

議長室から

議長
林 茂

4月24日に開催した第2回臨時会と、第3回6月定例会の内容をお知らせしています。

このたびの両議会でも活発な議論がなされたところでありますが、第2回臨時会では一般会計補正予算に関連して、総合保育園の建設事業と防災行政無線整備事業に多くの意見が出されました。取り分け、平成23年は地震、水害、豪雪と自然災害が続いたこともあり、市民の生命を守るための防災行政無線整備事業は、平成24年度の重点事業の1つとして3月の定例会で予算可決したものでありました。それがわずか1カ月後に、大幅な事業内容の変更を行なった補正予算として提案されたものです。このような当局の予算提案のあり方は議会が直ちに納得できるものではなく、当局の姿勢をただす質疑が相次ぎました。また、総合保育園建設事業は実施設計段階に進み、議会はその内容に注目しています。

第3回6月定例会では、山王中学校の耐震補強工事問題に関連して「訴えの提起について」が再度提案されました。この案件は昨年12月定例会でも提案され、議会は和解に向けた誠意ある話し合いを継続するよう求めて、大差で否決しています。このたび再提案されたものの、議会を翻意させるような説明や状況の変化があるものではなく、採決の結果、議会は再びこの提案を否決したものです。また、五泉駅周辺整備計画についても、慎重に進めるよう求める意見が数多く出されました。

このたびの議会とのやり取りを踏まえて市当局は、これらの重要な案件に対して十二分な準備・検討を行なったうえで、議会や市民が納得できる説明責任を果たすよう期待するものです。

総務文教常任委員会審査報告

(主な質疑)

訴えの提起について

問 12月議会で、もう少し相手方と交渉するべきであるとして否決をしたわけだが、それ以降どういうやり取りがあったのか。

答 2月22日に相手方に会い、言い分はそれぞれあるけれども、別途必要になった耐震補強工事費400数十万円については、双方による折半ということで和解にに応じていただけないだろうかというお話をした。

それに対して、「和解ということではないが、解決金ということでは100万円程度であれば支払う準備がある。」という返答であった。分かりましたというわけにはいかなかったもので、もう一度持ち帰って検討していただきたいというお願いをして、別れた。その後、相手方の弁護士から、「100万円という解決金であればお支払いする用意はある。けれども、それ以外のことは承服しかねる。」というファックスが届いたところである。

問 和解を前提に取り組んだということだが、交渉による和解の見通しはゼロなのか。まだ少し可能性はあるのか。

答 相手方が話をした100万円と持つということになると、300万円を市が持つということだから、正直どう判断

をすれば良いのかちよつと分からない。ただ、今の段階で話し合いによる解決の道ができるのであればというふうに思っている。

問 相手方が話をした100万円で終わらせることもひとつの方策と思うが、市としてその決断はしないということではどうだろうか。

答 裁判の結果が1000対ゼロになるのか、相手方が1000で市がゼロになるのか、あるいは五分五分になるのか、さまざま想定してみると、正直その辺は不安が残っている。そう考えると話し合いの中で解決できればというものは持っている。

意見

これは法律の問題の前に、感情論のほうが先行しているような感じがする。お互い冷静になって新たに議論することが必要と考える。したがって、この議案には反対する。

審査結果

以上の質疑応答を踏まえて、総務文教常任委員会としては、「訴えの提起について」は全会一致で否決と決定し、これに関連して「平成24年度一般会計補正予算(第2号)」に対する訴訟費用を減額した修正案についても、全会一致で可決した。

◎熊倉政一 塚野 弘
○佐藤 渉 松井 聡
鈴木良民 安中 聡
牛腸利栄

厚生経済常任委員会 審査報告

(主な質疑)

いずみりん・しゃん祭り
について

◎阿部周夫 伊藤昭一
○広野 甲 長谷川政弘
林 茂 佐藤 浩
町田俊夫

五泉フードブランド事業
について

問 一般会計補正予算に、いずみりん・しゃん祭り事業補助金が20万円計上されているが、今回のこの事業は総額としていくらか位かかる事業なのか。また、かつては相当数の踊りのチームが県外から参加していたという経緯があるが、今現在はどのようになっているのか。

答 いずみりん・しゃん祭り実行委員会が提出した要望書によると、その中で支出の主なものとしては、運営協力費、アトラクション参加代、参加者商品代、保険料等ということで、合計60万円という計画であった。また、この祭りであればということ、現在も多数の踊りのチームが県外から参加してくださるとのことである。

問 五泉フードブランド推進実行委員会負担金30万円が補正予算に計上されている。さとも麺は広く知られるところとなってきたが、これに続く第2弾として何か考えているものはあるのか。

答 現在、五泉市の職員も参加して、市内においてごせん夢会議というものを開催している。その中で、イベント企画という考え方の中で、一つ二つ案が出ている。

意見

五泉フードブランド事業について、今各地で、ご当地の食材を利用し食の教育も絡めながら、そこから新しい食材を作り出しているという流れがある。五泉市においても、さともにも限らず地域のさまざまな食材があるわけであるから、第2弾、第3弾として、その会議の中でどんどん進めていきたい。

(◎委員長 ○副委員長)

建設企業常任委員会審査報告

(主な質疑)

五泉市火災予防条例の一部を改正する条例
の制定について

問 これまで非危険物として消防法令等の規制対象外であった炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が、新たに危険物に追加されたということであるが、しかし、国内で製造されている製品は「非危険物」であるとはどういうことか。

答 危険物に該当するかどうかは、危険物の確認試験というものを行ない、その試験の結果によって、その性質上、危険物に該当するかどうか決定される。この試験結果により、国内で製造されている製品は「非危険物」であると確認している。

五泉駅周辺整備促進事業について

問 市民に対する説明会等は何回行ない、一番の要望はどのようなことであったのか。

答 五泉駅周辺住民の代表の方に集まっていたとき、1年間で4回開催した。その中で出された意見を取りまとめた素案を作成した。一番多かった要望としては、駅南地区の東西方向を連絡する市道中学寺沢南線を拡張整備してほしいということであった。

問 ぜひ地元の要望を尊重し、計画に盛り込んでもらいたい。五泉駅周辺整備促進事業に大きく関連しているのが、東南環状線の整備である。この界限で一区間残っているが今後の見通しはどうか。

◎剣持雄吾 長谷川真介
○猪熊 豊 相田 豊
鈴木光規 平井敏弘

答 すでに用地を先行取得しているところもあるし、以前県の計画にも載っていたので、県道のバイパスとして整備するよう要望していくつもりである。

問 この計画対象区域外になるが、村松地区まで続く線路跡地の利用について、どのように考えているのか。

答 今泉の交差点までの間については、一部民有地になっているところもある中で、この事業の実施計画に移る段階では議論になるところだと思っている。交差点から先については、県道と並行しているので県と協議していく。

問 現在JR五泉駅の南側に仮設の駐車場があるが、どのくらいの利用があるのか。

答 夕方以外、ほとんどの時間帯には駐車していない。

意見

あまり利用されていない場所を舗装して多目的広場と駐車場を作ろうと計画しているが、これでは現実的に利用されない可能性が非常に大きい。計画を作るにあたって、市民全体からものと広く、いろいろな意見を集約していくべきである。この事業は五泉市の大きな拠点になるわけであるから、整備後に後悔することのないよう、しっかりと計画を立てるべきである。

(◎委員長 ○副委員長)

閉会中における常任委員会所管事務調査報告

3月の第1回定例会で総務文教常任委員長及び厚生経済常任委員長から申し出があり、開催を認められた議会の閉会中の所管事項の継続調査を、4月17日と18日に実施しました。

6月12日の本会議において、両常任委員長が調査報告を行ないましたので、その概要をお知らせします。

総務文教常任委員会調査報告

◆調査事項

◆第1次五泉市総合計画後期基本計画について

◆調査期日 平成24年4月17日

◆調査結果

◆(1) 第1次五泉市総合計画前期基本計画の総括と後期基本計画の策定について

◆当局説明

第1次五泉市総合計画前期基本計画の総括については、市がこれまでに取り組んできた施策に対する市民意識調査を実施するとともに、担当課で検証シートを作成するなど、施策ことの現状分析、進捗状況、課題の整理を行った。後期基本計画ではそれらを基礎として、前期で55あった施策を51の施策にまとめ、指標なども現状をとらえた現実的な目標値を設定した。今後、この計画をもとに5年間のまちづくりに取り組みたいと考えている。

◆意見

後期計画の5年間、五泉市をこうして行こうというものが見えにくい。市長の公約など新しい部分を入れて、一定の方向性を出しても良かったのではないかと。また、新庁舎建設は、それを中心としながらいろいろな複合施設の整備など、五泉市全体のまちづくりの基礎となるものと考えて。建設するかしないかを含め、後期基本計画の段階で判断してよかったのではないかと。

◆(2) 第1次五泉市総合計画後期基本計画のうち「五泉駅周辺整備促進事業」について

◆当局説明

五泉駅周辺整備促進事業については、五泉駅周辺の交通結節点機能の

改善と、市の玄関口として駅周辺の賑わいの創出を図ることをめざして取り組みを進めたものである。地域の方々などを委員とした、五泉駅周辺整備市民懇談会を立ち上げ、現状と課題の確認や、目標と基本方針の設定、具体的な取り組みの検討を行った。その意見を踏まえ、26の事業メニューからなる計画の素案を策定したところである。今後この事業は、都市整備課で担当し、国の社会資本整備総合交付金の事業として採択されるよう、事業の組み合わせなどを検討して申請したいと考えている。また、引き続きJRとも協議を行ないながら進めて行きたいと考えている。

◆意見

利用客がいなければ、駐車場をはじめとする駅周辺の整備を行なっても意味がない。まずJRのダイヤを増やすなど、利便性の向上が最初の課題である。また、これらの事業については、まだまだ議論していかなければならない部分が多くあると

◆(3) 第1次五泉市総合計画後期基本計画のうち「防災行政無線整備事業」について

◆当局説明

防災行政無線の整備については、市民への情報伝達の確実性と避難誘導の迅速化を求めて計画したもので、平成24年度から25年度までの継続事業である。整備内容は、屋外拡声子局200カ所の設置、田川内、菅沢など6カ所の不感地帯に対する衛星携帯電話の整備、学校などの避難所用に半固定型の端末機器を設置するものである。

厚生経済常任委員会調査報告

◆調査事項

◆第1次五泉市総合計画後期基本計画について

◆総合保育園の建設計画（設計等）について

◆調査期日 平成24年4月18日

◆調査結果

◆(1) 第1次五泉市総合計画後期基本計画のうち保健・医療体制について

◆当局説明

施策18「安全・安心な保健・医療体制の充実」については、平成22年度に実施した市民意識調査の結果、医療整備の充実への満足度が低く、産科や専門医不足による現状が課題となっている。また、医療を取り巻くさまざまな環境が厳しくなっていることから、地域医療・救急医療体制を維持することが困難となっている。これらのことを踏まえ、本年4月に新たに医療対策係を設置し、本施策に取り組んでいくことにした。

◆意見

産科や専門医不足による現状と課題は明記されているが、今後の取り組みとして具体的な計画が明記されていない。新たに設置された係の充実した活動を望みたい。

◆(2) 第1次五泉市総合計画後期基本計画のうち（仮称）産業振興センターについて

◆当局説明

施策30「工業の活性化」及び施策36「地域資源を活かした観光と都市交流」のうち（仮称）産業振興センター

建設推進事業については、観光と運動した市の産業全般の販売やPRを図るため、本年度中に検討委員会等を立ち上げ、協議に入る予定である。

◆意見

商工観光課と関係課との連携、また農・商・工業等の各団体との連携を図り、（仮称）産業振興センターの充実した活用を早急に考えてほしい。

◆(3) 総合保育園の建設計画（設計等）について

◆当局説明

総合保育園の建設計画（設計等）については、構造を木造一部2階建てとし、2階部分には子育て支援センター及び多目的室を計画している。また、エレベーターも設置しバリアフリー化を図ってきたい。面積的には、前回と比較し約100㎡増えることになる。今後の日程についても、設計作業を6月中旬位までに何とか終わらせたいと考えている。

◆意見

先日来の委員会の質疑の中で、2階部分の活用方法として学童保育や万が一の避難場所が挙げられてきた。面積が増えればそれにあわせて事業費も増えると思うが、せっかく2階部分を増やすのであれば、余裕を持ったスペースの確保を希望したい。

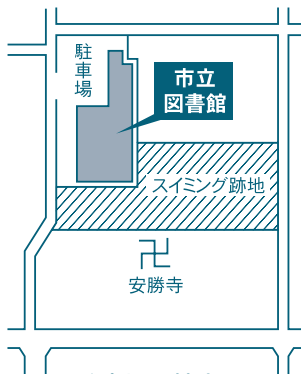
一般質問(通告順)

いのくま 豊



図書館駐車場の拡充

問 図書館の駐車場が狭く、市民から拡充を求める声大きい。隣のスイミング跡地を活用できるようにすべきである。



答 検討したい。

駐車場の拡充で
利用しやすい図書館を

放射能から子供を守ろう

問 福島原発の爆発事故は、目に見えない放射能の恐怖から、多くの人を苦しめ、収束のメドもたっていない。五泉市にも百人を超える子供やお母さんが避難されている。避難者への支援の充実を。

また、東京電力は来年4月、柏崎原発を再稼働する計画だ。もし、福島原発のような事故が起きれば、60キロ圏内の五泉の農業はダメになる。市長は市民の命と暮らしを守るため、再稼働に反対を。

答 避難者の声を広報に載せ、不安にならないよう最大限の支援をしたい。また、柏崎原発の再稼働は、安全性が確認されていない現在、反対である。



五泉市は柏崎原発から60キロしか離れていない

あべ かねお



道路交通網整備

問 地方においては道路交通網の整備をなくして地域の発展はないと考える。東南環状線の早期着工と磐越自動車道・五泉PAでのETCインターを早期に導入すべきである。JR五泉駅・駅南開発は今後の乗降客の需要が見込めず、莫大な経費がかかるので反対である。三本木・中野線の工事着工については時期尚早である。



スマートICを五泉市へ(五泉市巢本地区を走る磐越自動車道)

答 快適な都市基盤整備として地域間の道路ネットワークを構築し、交通の利便性、安全性の向上を図る必要があると考える。

消雪パイプ整備

問 県内において冬期間の豪雪が近年当たり前になっている。消雪パイプの敷設が十分でない人口及び児童生徒の多い市街地の消雪パイプ敷設を早期にお願いしたい。

答 今年度は五泉市立図書館周辺及び駅前1丁目地内の消雪パイプ整備を予定。設置要望については市内各所から多数あり、整備区域の拡大に向け国に要望する。

一般質問(通告順)

佐藤 浩



税金等の収納方法

問 時間的、場所的な制限を軽減するため、水道料金・下水道使用料と同じように税金や保険料もコンビニエンスストアでの支払いを可能にできないか。

答 コンビニエンスストアでの納付は、日中仕事等で窓口納付ができない納税者にとって納税の利便性が高まり、納期内納付の向上につながる。しかし、導入には電算システムの追加やランニングコスト等かかるので、今後検討したい。

子供たちの安全

問 各地で登下校時の痛ましい事故が相ついでいる。通学路についての危険箇所等の把握、対策はできているのか。

答 危険箇所についての調査、把握は行なっている。今後も関係機関及び関係団体と連携し、交通安全対策や見守り活動の一層の充実など、引き続き登下校における児童生徒の安全確保の徹底を図る。



冬道も安全確保を

塚野 弘



通学路の安全確保について

問 全国で子供たちの通学途中で死傷者が出る悲惨な交通事故が多発している。

子供たちを交通事故から守るためには、保護者、学校、教育委員会、道路を管理する五泉市、新潟県、交通を規制する警察が十分過ぎる安全対策を講ずる必要がある。五泉市の通学路の安全性は確保されているのか。危険性のある箇所の早急な改善に向けて、市長自ら音頭を取って、保護者、学校、教育委員会、新潟県、警察を巻き込んだ通学路の安全対策協議会を立ち上げ、早急に改善を図るべきではないか。

答 (教育長) 五泉市の通学路で危険な箇所は、学校の調査で82箇所ある。通学路の安全対策協議会を教育委員会としては、立ち上げていただければ大変ありがたい。

(市長) 通学路の安全対策協議会については、新潟県等と相談して検討する。



危険な通学路

一般質問(通告順)

松井 さとし



行政改革について

問 人事考課制度への23年度のとりくみは。

答 23年においては、新任評価者研修、新任被評価者説明会を実施している。18年度から22年の研修等委託費用は、合計で約1,000万円である。今後さらに研修の充実を図るとともに、実施については他市の状況を参考にしながら給与等及び任用に活用できるように努めたい。



問 3月議会の議案であった職員給与一律1%の削減の意味と算出の根拠は。また、職員給与についての市長の意思を問う。

答 3月議会に提出した職員給与1%の削減は、市の財政状況、財政力指数、地場産業の状況や市民感情を考慮すると、職員にもいくらかの負担をしてもらわなければならないということで提案した。地方公務員の給与については、地方自治体が給与削減の趣旨を踏まえて、自主的かつ適正に対応するとの附則があるので、市の財政状況を考慮しながら検討したい。

さとう わたる



観光行政について

問 観光行政の基本である観光案内標示板が少ないと、市外の人からよく指摘をうける。車の通行が多く目立つ所に増設はできないか。

答 五泉市を訪れる観光客が増加するよう、観光案内標示板の計画的な整備を検討する。



観光案内標示板の増設を

空き家対策について

問 多くの空き家は老朽化して危険な状態である。大きな事故が起きる前に、また環境衛生面からも、空き家の対策に行政側から持ち主に対し、管理責任を明確にする条例を早急につくる考えはあるか。

答 所有者を調査し、適正な管理を行なうよう文書で通知している。また生活環境に悪影響を及ぼす空き家が増加することが予想されることから、今後の研究課題とする。

一般質問(通告順)

くまくら 政一

施設の老朽化と
経費削減について

問 少子高齢化の急激な進展など、取り巻く環境が大きく変化する中、行政サービスに対する市民ニーズも変化している。市民ニーズに的確に対応するために、公共施設の目的や規模について再検討する必要がある。将来に負の財政を残さぬよう、中長期的視点での施設のあり方について議論が必要と考えるが、財政面での効果を含め見解を伺う。

答 公共施設は、合併後の市民サービスを維持するため、一部を除き、類似施設についても併存させてきたが、今後施設の維持管理費、改修、改築の財源を確保することが一層困難になると考えられる。

公共施設のあり方を見直すため、庁内で研究組織を立ち上げるなどして、検討に着手したい。



老朽化が進む市の施設

剣持 ゆうご



市長の政治姿勢は

問 五泉市の将来構想は、人と自然が織りなす創造都市とある。市長のまちづくりは、産業と観光のどちらをメインとしているのか。または産業と観光の2つの柱で進まれるのか。あるいは全く独自の方法で進められるのか伺う。

答 総合計画で定めた教育や子育て、防災、産業の活性化、道路整備など51の施策を実行することで、市民が夢と希望を持てるまちづくりに取り組んでまいりたい。

防災対策について

問 河川の状況、堤防の状態、小河川の定期点検及び避難所等の点検と備えは十分か伺う。

答 五泉市防災会議において、関係機関相互の連携、協力体制について万全を期した。河川や堤防の状況把握、水防資材等の配備、避難所の準備態勢に支障ないよう対応している。



昨年7月の水害(上野地内)

一般質問(通告順)

広野 まさる



今後のまちづくり

問 戦後、短期間で整備された社会資本ですが、コンクリートの寿命が50年から60年と言われ、次々と老朽化している。五泉市の現状と整備計画はどうなっているのか、高齢化社会に向けて、必要なものが集中するコンパクトなまちづくりを進めて行くべきだ。

答 修繕計画を策定した58橋のうち50年以上経過した橋梁は約1割、学校で40年以上が2割、水道管の老朽管が5割です。社会構造の変化に見合った整備に努めたい。高齢者を含む市民が快適に生活できる福祉のまちづくりに、取り組む。



整備計画の着実な実施を

建設業再生について

問 災害復旧、インフラの維持管理に地元建設業者の役割は大きいですが、経営環境は厳しい。複数年の契約など地域維持型契約方式の導入を進めるべきだ。

答 建設産業の育成と公共施設の維持管理に有用と認識している。制度の研究を進めて行きたい。

安中 聡



議員報酬含めた給与削減について

問 議員報酬及び市長、副市長、五泉市職員の給与削減の議案を再提出すべきである。

答 市の経済、財政状況等を考慮しながら、今後とも検討してまいりたいと思っている。

映画等のPRビデオ作成について

問 やる気のある人から五泉市を題材、ロケ地にした手作りの映画を多数応募してもらうという手法を取れば、その手法自体が五泉市のPRになる上、映画作りに人が五泉市に訪れれば、それだけ五泉市の活性化に繋がり、更に応募された作品を多数公開することで五泉市の魅力を再発見することもできると考える。

答 PRビデオにつきましては、今後の推移を見ながら必要性について考えてみたいと思っている。

	佐藤忠男(2001)	前澤哲爾(2000)	前澤哲爾(2008)	国土交通省 村上雅己(2001)
経済効果	ロケ地・宿泊等による 地元の経済的利益	撮影隊が現地に 落とすお金		ロケ地になることで観光 地としての魅力アップと 入り込む客の増大
他地域、国内外への PR、パブリシティ (宣伝)効果	外への 地元のPR		海外から撮影が来易く なる	海外へのPR
国際交流	国際文化交流 (特にアジアとの交流) の契機	(海外から撮影クルーが来や すくなり)実質的な国際交流 映画のノウハウの交換		
柔軟な施設運営			規制や規定の再検討(使い やすい施設に移行)	
市民への社会教育、 郷土愛や参加意欲の 醸成			地域協働プロセスを始める 機会	
	市民への社会教育	文化・芸術活動への市民の 理解、映像制作を志向する 地域の若者にとっての学 習と人脈作りのチャンス	郷土愛の熟成	元在民がエキストラなど で映画製作に直接参加す ることにより地域文化の 育成にもつながる

	長崎経済研究所(2001)	大阪商工会議所(2001)	全国フィルム・コミッ ッション連絡協議会	国土交通省(2005)
経済効果	経済効果	直接的な経済効果 (ロケ地宿泊費など)	撮影隊が支払う 「直接的経済効果」	ロケ地の宿泊による集 客交流産業の振興
観光振興			作品を通じて観光客が増 え、観光客が支払う 「間接的経済効果」	(知名度が高まり)集客 力が向上して経済振興
他地域、国内外への PR、パブリシティ (宣伝)効果			当該地域の情報発信 ルートが増える	日本の文化やイメージが 広く海外に発信、海外へ からのロケ誘致、集客へ
国際交流				
柔軟な施設運営				
市民への社会教育、 郷土愛や参加意欲の 醸成	地域活性化に向けた(市民 の)参加意識の高まり			地域資源や町の魅力の 再発見
			映画やテレビを通じた地元 住民の文化レベルの向上	

参考文献 永橋爲介・神谷雅子・宮西恵津子「2000年代におけるフィルム・コミッション論の検証」
『立命館産業社会論集』46(4) 2011年

表 フィルム・コミッションによる効果一覧表
(映画製作/映画産業振興に関する言説は省略)

一般質問(通告順)

町田 としお



人・農地プラン

問 高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等の「人と農地の問題」があり、将来の展望が描けない五泉市農業。その対策として新事業「人・農地プラン」がスタート。未来の設計図作りに市の対応を問う。

答 持続的で力強い農業実現には重要な施策だ。地域の話し合いに基づくプランが充実するよう積極的に推進支援する。



集落内での話し合い

春の運動会と紫外線

問 日本臨床皮膚科医会は、ここ20年間どんどん紫外線の量が増え、特に有害な種類が多くなり、皮膚が未熟で薄い子供は将来皮膚がんの罹患率が増大と警告。

紫外線は春から夏がピークだ。肌の抵抗力も強くなる秋に運動会を変更すべきだ。

答 屋外での活動は紫外線、熱中症など健康面に十分配慮し、運動会の提案は校長会を通じ、来年度以降参考にする。



春の運動会

鈴木 良民



村松公園周辺の総合的な整備を

問 さくらアリーナを有効活用するため、村松武道館の改修、サッカー場やテニスコートの整備は未利用地の活用、宿泊施設も含め、後期基本計画を策定する段階で検討すると議会答弁されている。どのように検討したのか伺う。

- 1) 既存のスポーツ施設について
- 2) 未利用地（旧愛宕中学校敷地）の活用について
- 3) 村松野球場のトイレ改修について

答 1) 既存の体育施設の耐震補強等が必要になり、総合的に勘案して後期の計画に組み入れなかった。

2) 桜まつりの駐車場として利用している。雨水対策として排水対策等の問題解決が必要、今後も議論していく。

3) 今後の課題として検討する。



整備が急がれる旧愛宕中学校敷地

全国市議会議長会・北信越市議会議長会から 永年勤続議員に表彰状・評議員功労に感謝状

4月に石川県で開催された北信越市議会議長会定期総会、及び5月に東京都で開催された全国市議会議長会の定期総会において、永年市政発展に尽くされた功績により表彰を受け、また全国市議会議長会の評議員としての功労により感謝状が贈られ、6月12日の定例会冒頭に表彰状と感謝状の伝達が行なわれました。



猪熊 豊 議員
(20年表彰)

林 茂 議員
(評議員感謝状)



土田春夫 前議員
(評議員感謝状)



後藤 寛 前議員
(20年表彰)

人 事 案 件

—次の方々に決定しました—
(敬称略)

◆ 固定資産評価員

湯 浅 善 章 (水島町)

◆ 人権擁護委員

木 村 麻 子 (東本町)

伊 藤 苗 (論 瀬)



請願・陳情の採択

次の請願4件と陳情1件を採択しました。

- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願
提 出 者：五泉市駅前1-3-25
新潟県教職員組合五泉阿賀支部
執行委員長 坂井 克成 外1名
紹介議員：塚 野 弘
- 大蔵8号線 道路拡張に関する請願
- 市道大蔵大沢線の市道拡張工事に関する請願
- 柄沢1号線地内側溝分離(用水・排水)に関する請願
以上3件提出者：五泉市大蔵2771
大蔵区長 目黒 忠一 外2名
紹介議員：熊倉 政一 伊藤 昭一
- 水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める陳情
提 出 者：新潟市中央区沼垂東6-4-12
沼垂診療所内
新潟水俣病阿賀野患者会
会長 山崎 昭正



▶お父さんお母さんと一緒に
今年も大きな七夕飾りを作りました
五泉みどり保育園（本田屋）



◀市内のホテルで開かれた七夕の集いで
よさこいを披露しました
大蒲原保育園（南田中）

編集後記

3・11の福島原発事故は、一年以上経過した現在も一向に出口が見えない。飯館村をはじめとする悲惨な移住や、生まれ育った郷土に愛着を持って生活してきた住民の傷心、漁業・農業・酪農に精魂を込めて暮らしを営んできた人々の苦悩には、未だに言葉がない。

そんな中、七月一日夜に、福井県にある関西電力大飯原子力発電所3号機の原子炉が起動した。国内で長期間止まった原子炉を動かすのは、東京電力福島第一原発の事故後初である。

原発の是非が問われている現在、日本や地球の未来を思うとき、原発の問題はとてつもなく大きな課題である。専門家によっても意見は様々である。皆様はどうお考えになりますか。

委員長	佐藤 渉
副委員長	鈴木 良民
委員	猪熊 豊
阿部 周夫	
松井 昭一	
伊藤 浩	
佐藤 浩	

議会に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい。

議会事務局 ☎(43) 3911 / E-mail:gikai@city.gosen.lg.jp / URL:http://www.city.gosen.lg.jp